臨時議会

平成二十三年第一回臨時議会は、一月十七日招集されました。

案件の大要は次のとおりです。

予算案件

◆平成二十二年度吉野町一般会計補正予算（案）第七号について　（可決）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ七千九百八十二万二千円を追加し、総額五十二億八千七百九十四万二千円となりました。

主に国からのきめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、魅力ある観光資源情報発信事業、交通安全施設整備事業、学校施設安全対策推進事業、町中央公民館耐震診断事業、町中央公民館図書室等整備事業、運動公園施設安全対策推進事業等に充当します。

◆平成二十二年度吉野町国民健康保険特別会計補正予算（案）第二号について　（可決）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ五千七百万円を追加し、総額十五億一千十万六千円となりました。

主なものは、一般被保険者、退職被保険者等の療養給付費、高額療養費を増額するものです。

◆平成二十二年度吉野町簡易水道事業特別会計補正予算（案）第二号について　（可決）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ三千七百九十万三千円を追加し、総額一億五千三百九十三万円となりました。

主に現在借り入れている長期債を繰上償還し低い利率に借り換えるため、公債費を増額するものです。

◆平成二十二年度吉野町下水道事業特別会計補正予算（案）第一号について　（可決）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ六千七百三万九千円を追加し、総額三億四千八百七十三万七千円となりました。

現在借り入れている長期債を繰上償還し低い利率に借り換えるため、公債費を増額するものです。

その他の案件

◆吉野町過疎地域自立促進計画の変更について　（可決）

高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進を図るため、廃校舎の福祉施設転用事業を計画に追加するものです。

継続審査案件

※平成22年12月定例会で継続審査となった議案の審議結果

◆南和広域連合規約の変更について　（可決）

1市3町8村で組織する南和広域連合の解散時の基金を処分するため規約の一部が改められました。

◆南和広域連合の解散について　（可決）

南和広域連合の解散について議決されました。

◆五條・吉野広域行政推進協議会の設置について　（可決）

1市3町8村で、介護保険法、障害者自立支援法に関する事務等を共同処理するため、協議会を設置しようとするものです。

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正することについて　（可決）

介護認定審査会委員、障害程度区分認定審査会委員及び個人情報保護審査会の報酬並びに費用弁償を定めるため、条例の一部が改められました。

◆吉野町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例を制定することについて　（可決）

南和広域連合の解散に伴い、町で障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定めるため、条例が制定されました。

◆吉野町介護保険条例の一部を改正することについて　（可決）

南和広域連合の解散に伴い、町で介護認定審査会の委員の定数等を定めるため、条例の一部が改められました。

文化財防火週間に伴う防火訓練

1月25日、大寒らしく雪が舞い散る厳しい寒さの中、平成22年度文化財防火週間に伴う防火訓練が金峯山寺で行われました。

この訓練は、奈良県全域に乾燥注意報が出されている中、境内の建物から出火し蔵王堂に飛び火するという想定で実施しました。

第一発見者の火災発生通報によって駆けつけた蔵王堂自衛消防隊が119番通報するとともに、参拝客の避難誘導や重要品の持ち出しを行いました。

また、今回初めての訓練参加となる吉野山自主防災会も、蔵王堂内から文化財など重要品の持ち出しを行いました。

消防車が到着する迄の間、自衛消防隊員が消火栓にホースをつないで火元めがけて放水しました。

その後、地元の町消防団吉野山分団、吉野広域消防本部の消防車が次々と現場へ到着、指揮所からの指示により、火の元めがけて放水を開始しました。

毎年、1月26日を「文化財防火デー」として、この日を中心に全国的に文化財防火運動が展開されています。

文化財防火週間にあわせて蔵王堂では毎年防火訓練が実施されています。

今回は、町消防団吉野山分団と吉野山自主防災会、吉野広域行政組合消防本部、そして金峯山寺蔵王堂自衛消防隊が協力してこの日の訓練が行われました。

終始緊迫した雰囲気が漂う中、10分程度で鎮火し、防火訓練が終了しました。

訓練のあと、金峯山寺の五條覚堯管領は「吉野山地区では、過去2回文化財が火災により消滅しています。普段から防災の意識を高め、後世の人のために文化財を守ってください。」とあいさつしました。

つづいて吉野広域行政消防本部堀谷消防長は「寒い中の訓練でしたが、てきぱきとした対応に心強いと思いました。今後も、文化財の火災に注意してください。」と話しました。

そして、吉野山自主防災会島田副会長は「昨年自主防災会を立ち上げ、今回初めての訓練参加となりました。大切な文化財を守ることを肝に命じ、活動していきます。」とあいさつをし、訓練は成功裏に終了しました。

みなさんも火の取り扱いには十分注意しましょう。

雪の中での防火訓練の様子